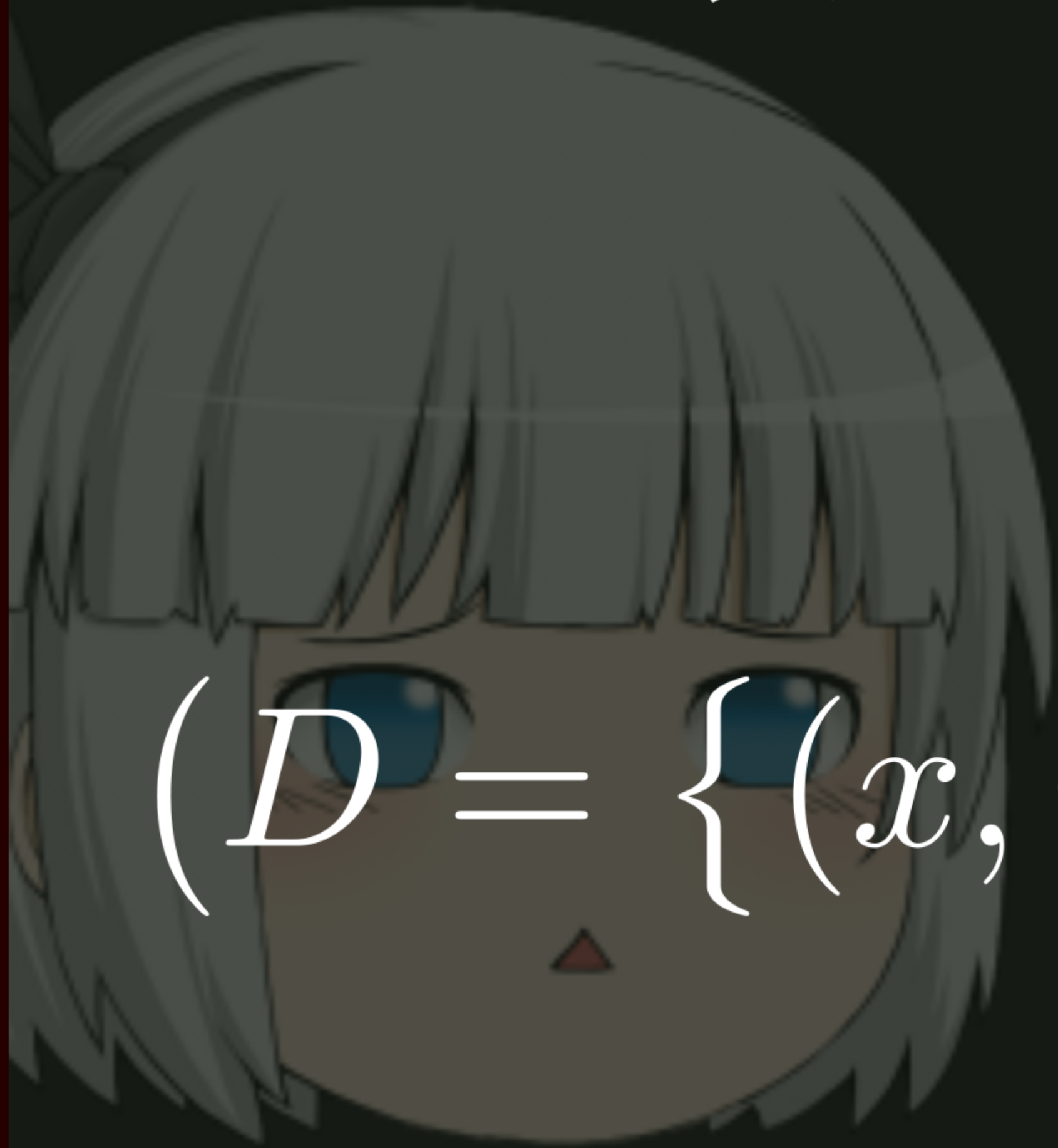


次の積分を計算せよ。

$$\iint_D dx \, dy$$

$$(D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2; x^2 + y^2 \leq 1\})$$



次の積分を計算せよ。

$$\iint_D dx dy \quad (D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2; x^2 + y^2 \leq 1\})$$

### 説明(0)

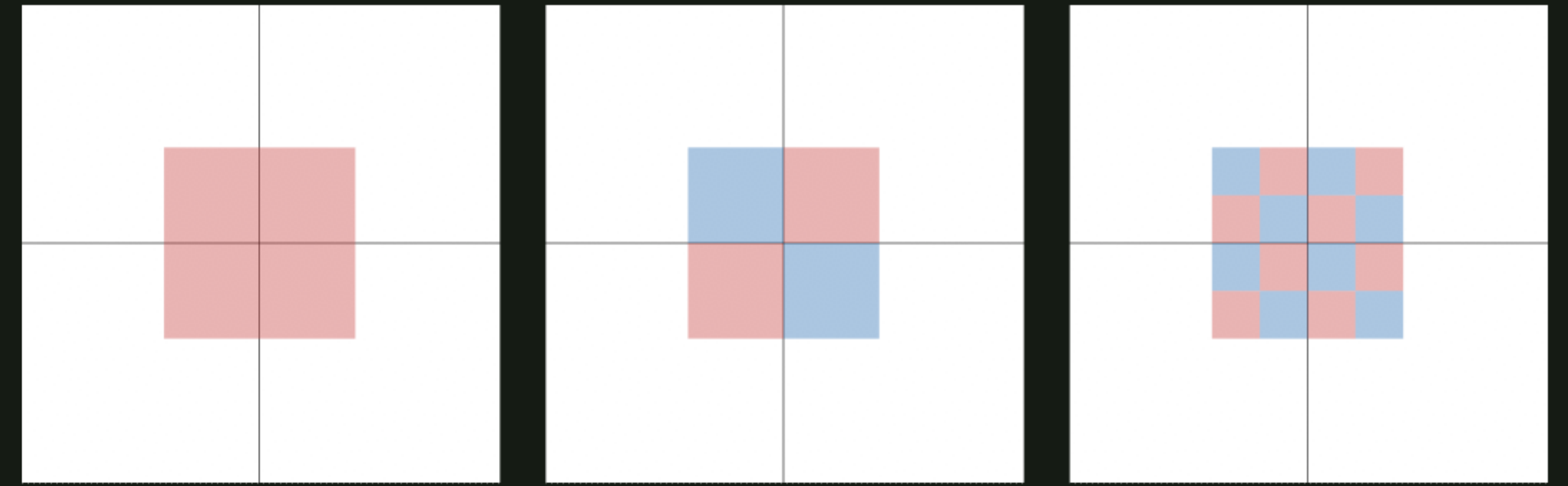
【重積分（ざっくりまたは雑）】

実数値関数  $f$  の区間  $I \in \mathbb{R}^n$  上の積分は次のように定められる。

$I$  の分割  $\{I_i\}_{i=1}^m$  とその代表点  $\{x_i^*\}_{i=1}^m$   
 $V = \max \text{vol}(\{I_i\})$  を用いて次のように表す。

$$\int_I f(\boldsymbol{x}) d\boldsymbol{x} = \lim_{V \rightarrow 0} \sum_{i=1}^m f(x_i^*) \text{vol}(I_i)$$

右辺の極限が収束しなければ、  
この積分は定義されない。



区間の分割イメージ (2 次の場合)

分割は画像のような等分でなくてもよい。  
各領域の大きさを 0 に近づけるため、  
分割の個数は限りなく大きくなる。

一般に、 $n$  重積分と  $n$  重の逐次積分は一致しない。

$$\begin{aligned} & \int \cdots \int_I f(\boldsymbol{x}) d\boldsymbol{x} \\ & \neq \int_{a_1}^{b_1} \cdots \int_{a_m}^{b_m} f(x_1, \cdots, x_m) dx_1 \cdots dx_m \end{aligned}$$

次の積分を計算せよ。

$$\iint_D dx \, dy \quad (D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2; x^2 + y^2 \leq 1\})$$

### 説明(1)

【一般の領域における重積分】

$\mathbb{R}^n$  の部分集合  $D$  における積分は、  
 $D$  の指示関数  $1_D$  と  $I \supset D$  なる  $n$  次元区間  $I$  を  
用いて次のように表される。

$$\int_D f(\boldsymbol{x}) \, d\boldsymbol{x} = \int_I 1_D(\boldsymbol{x}) f(\boldsymbol{x}) \, d\boldsymbol{x}$$

$$1_D(\boldsymbol{x}) = \begin{cases} 1, & \boldsymbol{x} \in D \\ 0, & \boldsymbol{x} \notin D \end{cases}$$



次の積分を計算せよ。

$$\iint_D dx dy \quad (D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2; x^2 + y^2 \leq 1\})$$

### 解答準備

以下、複数の解答において領域  $D$  の指示関数  $1_D$  を用いることとする。

$$1_D(x, y) = \begin{cases} 1, & (x, y) \in D \\ 0, & (x, y) \notin D \end{cases}$$

### 解答I (0)

領域  $R = [-1, 1] \times [-1, 1]$  は領域  $D$  を含む長方形領域である。

実際、 $x, y$  のいずれかの絶対値が 1 を超えると  $x^2 + y^2 \leq 1$  を満たさない。

従って、与えられた積分は次のように表せる。

$$\iint_D dx dy = \iint_R 1_D(x, y) dx dy$$

領域と被積分関数が有界であることから与えられた積分は有限であり、フビニの定理より次のことが言える。

$$\iint_R 1_D(x, y) dx dy = \int_{-1}^1 \int_{-1}^1 1_D(x, y) dx dy$$

次の積分を計算せよ。

$$\iint_D dx \, dy \quad (D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2; x^2 + y^2 \leq 1\})$$

解答1 (1)

また、 $D$  の定義から次のことも言える。

$$\begin{aligned} \int_{-1}^1 \int_{-1}^1 1_D(x, y) \, dx \, dy &= \int_{-1}^1 \left( \int_{-1}^{-\sqrt{1-y^2}} 1_D(x, y) \, dx \right. \\ &\quad + \int_{-\sqrt{1-y^2}}^{\sqrt{1-y^2}} 1_D(x, y) \, dx \\ &\quad \left. + \int_{\sqrt{1-y^2}}^1 1_D(x, y) \, dx \right) dy \\ &= \int_{-1}^1 \int_{-\sqrt{1-y^2}}^{\sqrt{1-y^2}} dx \, dy \end{aligned}$$

あとは目の前にある計算をするだけである。

$$\begin{aligned} &\int_{-1}^1 \int_{-\sqrt{1-y^2}}^{\sqrt{1-y^2}} dx \, dy \\ &= 2 \int_{-1}^1 \sqrt{1-y^2} \, dy \\ &= 4 \int_0^1 \sqrt{1-y^2} \, dy \\ &= 4 \int_0^{\frac{\pi}{2}} (\cos(\theta))^2 \, d\theta \quad (y = \sin(\theta)) \\ &= 4 \int_0^{\frac{\pi}{2}} (\sin(\theta))^2 \, d\theta \\ &= 2 \int_0^{\frac{\pi}{2}} d\theta \\ &= \pi \end{aligned}$$

次の積分を計算せよ。

$$\iint_D dx \, dy \quad (D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2; x^2 + y^2 \leq 1\})$$

### 解答2

与えられた積分に対して、

$(x, y) = (r \cos(\theta), r \sin(\theta))$  と置換する。

この置換のヤコビ行列式は次のようにして得られる。

$$\begin{aligned} \det \frac{d(x, y)}{d(r, \theta)} &= \det \begin{pmatrix} \frac{\partial x}{\partial r} & \frac{\partial x}{\partial \theta} \\ \frac{\partial y}{\partial r} & \frac{\partial y}{\partial \theta} \end{pmatrix} \\ &= \det \begin{pmatrix} \cos(\theta) & -r \sin(\theta) \\ \sin(\theta) & r \cos(\theta) \end{pmatrix} \\ &= r \end{aligned}$$

この置換は  $E = [0, 1] \times [0, 2\pi)$  から  $D$  への双射 (全単射) の関係にあるため、次が成り立つ。

$$\iint_D dx \, dy = \iint_E \left| \det \frac{d(x, y)}{d(r, \theta)} \right| dr \, d\theta$$

計算を続ける。

$$\begin{aligned} \iint_E \left| \det \frac{d(x, y)}{d(r, \theta)} \right| dr \, d\theta &= \iint_E r \, dr \, d\theta \\ &= \int_0^{2\pi} \int_0^1 r \, dr \, d\theta \\ &= \left( \int_0^{2\pi} d\theta \right) \left( \int_0^1 r \, dr \right) \\ &= 2\pi \cdot \frac{1}{2} \\ &= \pi \end{aligned}$$



次の積分を計算せよ。

$$\iint_D dx \, dy \quad (D = \{(x, y) \in \mathbb{R}^2; x^2 + y^2 \leq 1\})$$

### 解答3 (蛇足)

与えられた積分は領域  $D$  の面積を表す。  
 $D$  は単位円であるため、その面積は  $\pi$  である。  
従って、次が成り立つ。

$$\iint_D dx \, dy = \pi$$

### 補足

初めの説明にあるとおり、重積分は  
分割した積分領域の、面積と  
代表点における被積分関数の値の和だ。

$I = [-1, 1] \times [-1, 1]$  とその分割  $\{I_i\}_{i=1}^m$   
代表点  $x_i^* \in I_i$  を用いて次のように表せる。

$$\begin{aligned} \iint_D dx \, dy &= \iint_I 1_D(x, y) \, dx \, dy \\ &= \lim_{\max \text{vol}(I_i) \rightarrow 0} \sum_{i=1}^m 1_D(x_i^*) \text{vol}(I_i) \end{aligned}$$

つまり領域  $I$  を分割して、領域  $D$  に含まれる点の  
大きさだけを足し合わせているので、  
与えられた積分は  $D$  の面積に一致する。

### 結論

$$\iint_D dx \, dy = \pi$$